

平成27年度決算のあらましをお知らせします

復興事業

東日本大震災と原発事故からの復旧・復興を強力に推し進めるため、除染や健康維持・増進など市民の皆さんの安全と信頼を高める事業や、風評の払拭・経済の活性化など県都の活力や元気を発信する事業を重点的に実施しました。

- ふるさと除染実施事業..... 962億7,201万円
(住宅や道路、農地などの除染、仮置場の設置など)
- 放射線健康管理事業..... 5,306万円
(ホールボディカウンターによる内部被ばく検査)
- 妊婦・子ども等の放射線対策事業..... 1億1,395万円
(個人線量計による外部被ばく線量の測定など)
- 農産物・食品等放射能測定事業..... 1億3,292万円
(市民の皆さんの持ち込みによる食品の放射能測定)
- 上町地区暮らし・にぎわい再生事業..... 9,720万円
(大原総合病院の移転新築支援に伴う周辺整備)
- 教室エアコン整備事業..... 39億5,581万円
(学習環境の整備・充実のためエアコンの設置を推進)
- アジア太平洋都市サミット参加事業..... 1,638万円
(本市のPRと風評の払拭を図るため、オーストラリア ブリスベン市で開催されたサミットに参加)
- 保育所、小中学校耐震補強事業..... 4億2,121万円
- 十六沼公園屋根付運動場整備事業..... 3億7,727万円
(子どもの運動機会確保のため整備工事に着手)
- ▶人工芝のプレイコートを備えた屋根付運動場を建設。今年8月にオープンしました
- ふくしまデザインেশョンキャンペーン連携事業..... 1,756万円
(県・JRなどと連携しながら本市独自のおもてなしで誘客)
- 土湯温泉町地区都市再生整備事業..... 1億9,006万円
(地域の特性を生かした活力とにぎわいのあるまちづくりを推進)
- 福島体育館再整備事業..... 7,252万円
(武道館と一体的に整備するための実施設計など)



住宅除染や道路除染などを進め、仮置場の準備が整った地区では、宅地内に保管している除去土壌の搬出を実施しました



人工芝のプレイコートを備えた屋根付運動場を建設。今年8月にオープンしました

重点施策事業

子育て支援や暮らしやすい地域づくりの推進、産業・観光の振興や雇用創出などの地域経済活性化対策、生涯学習環境の充実や環境保全の取り組み強化など、市民の皆さんが安心して元気に生活できるまちづくり事業を重点的に実施しました。

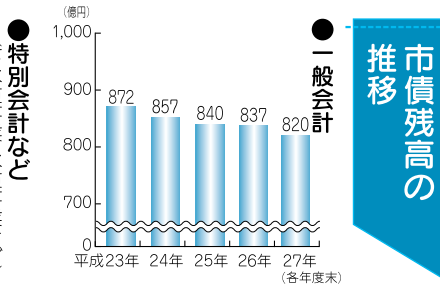
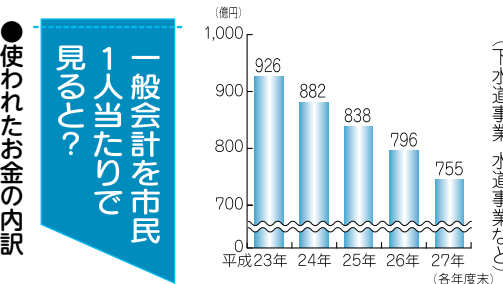
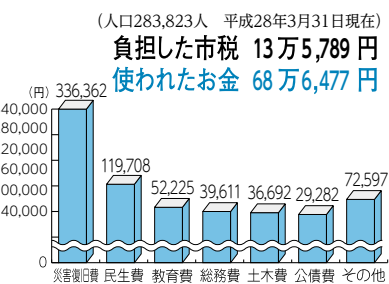
- 任意予防接種助成事業..... 3,107万円
- 地域医療確保対策事業..... 3億537万円
- 通学路等安全対策事業..... 1,599万円
- 橋りょう長寿命化修繕事業..... 3億9,465万円
- 女性が輝くまちづくり推進事業..... 230万円
- 任意予防接種助成事業..... 3,107万円
- 太陽光発電システム設置助成事業..... 5,545万円
- ももりんカフェ支援事業..... 500万円
- 女性が政策提言スキルを身に付けるための講座「ウイメンズ イノベーション カレッジ イン ふくしま」を開催しました
- 福島産モモを使ったスイーツコンテストを開催。入賞作品を商品化し果物の消費拡大に努めました
- ふくしま定住推進事業..... 1,369万円
- 学力向上サポート事業..... 1,670万円
- 宮畑史跡公園整備事業..... 3億5,297万円
- 新斎場整備事業..... 1億848万円



女性が政策提言スキルを身に付けるための講座「ウイメンズ イノベーション カレッジ イン ふくしま」を開催しました



福島産モモを使ったスイーツコンテストを開催。入賞作品を商品化し果物の消費拡大に努めました

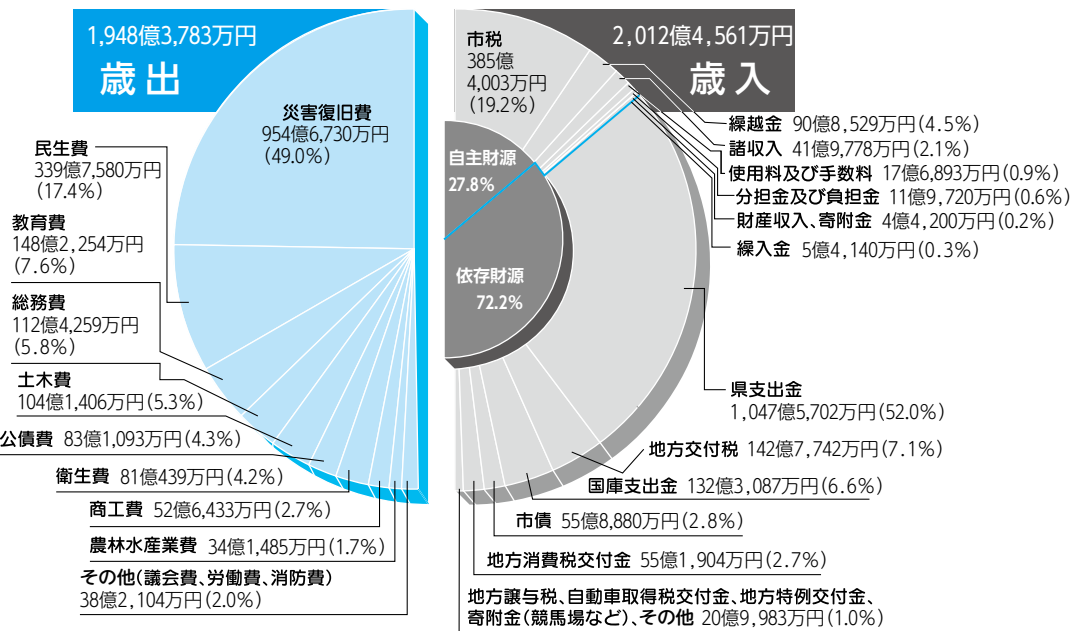


平成27年度一般会計の決算額は、過去最大となった平成26年度決算をさらに上回り、歳入総額が2,012億4,561万円、歳出総額が1,948億3,783万円となり、差引き64億778万円になりました。ここから平成28年度へ繰り越した事業の財源4億6,433万円を差し引いた実質収支額は、59億4,345万円となり、黒字決算になっています。歳入は、除染事業の加速化で県支出金が前年度より増加したほか、市税や地方消費税交付金が増加しました。

歳出は、市復興計画に基づき除染や学校教室のエアコン設置を進めるなど復興事業に最優先に取り組みとともに、福島市に住んで良かったと誇れるまちの実現に向けて、市民福祉の向上を図るためのさまざまな重点施策事業を実施し、引き続き健全な財政運営に努めました。

主な復興事業・重点施策事業は、次ページをご覧ください。

一般会計支出総額 1,948億3,783万円



※復旧・復興事業の財源として、県支出金が大幅に増加しているため、自主財源の割合が例年に比べ低くなっています。

特別会計・水道事業会計の収支決算

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	322億8,969万円	309億9,914万円
下水道事業	98億6,239万円	90億6,721万円
飯坂町財産区	1億8,973万円	8,556万円
公設地方卸売市場事業	3億5,922万円	3億1,206万円
土地区画整理事業	3億8,594万円	3億6,973万円
農業集落排水事業	2億3,763万円	1億8,023万円
介護保険事業	232億1,045万円	228億4,380万円
庁舎整備基金運用	100万円	100万円
後期高齢者医療事業	31億7,025万円	31億6,113万円
青木財産区	1,125万円	41万円
計	697億1,755万円	670億2,027万円

会 水 道 事 業 計 業	収益的収入		収益的支出	
	92億6,597万円	140億8,193万円	資本的収入	資本的支出
計	12億1,980万円	32億4,161万円		

●一般会計とは？
福祉や教育、土木など市の一般的な事業の大部分を経理する会計です。

●特別会計とは？
特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計です。

●歳入
市税：市民の皆さんなどが市に納めた税金。市民税や固定資産税、軽自動車税など。

●歳出
災害復旧費：災害によって生じた被害の復旧のための経費。民生費：高齢者や障がい者、児童のための福祉や生活保護のための経費。総務費：市政を進めるために必要な一般的な経費。土木費：道路や橋、住宅、公園などを整備する経費。公債費：市の借入金返済のための経費。衛生費：健康で衛生的な生活環境を保持するための経費。